



令和7年7月1日
えぶち保育園/えぶちにしゃ園

梅雨明けの知らせが待ち遠しく、時折見せる晴れ間には、すでに夏の訪れを感じます。子どもたちは、水遊びや七夕のイベントをととても楽しみにしていて、園内の笹の葉には、たくさんの願いごとの短冊が揺れています。

子どもたちの体調管理に気をつけながら、今月も楽しく過ごしていきたいと思います。

【今月の予定】

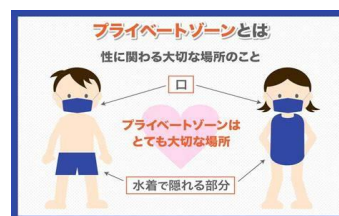
7日(月)	七夕会 0～5歳児
18日(金)	すいか割り 0～5歳児(「はいチーズ!」による写真撮影あり)
28日(月)	お誕生日会(3～5歳児誕生月の保護者のみ見学 有)

※避難訓練、身体測定は上旬に行う予定です。

「プライベートゾーン」について学ぼう

今年度も水遊び期間の前に、保健師・看護師から「プライベートゾーンについて」の大切なお話がありました。

「プライベートゾーン」とは、男女の体のうち、性に関わる大切な場所のことです。体の水着で隠れる部分と 口(くち)を「プライベートゾーン」と呼びます。子どもを不審者や性犯罪者から守るため、「プライベートゾーンを他人に見せたり、触らせたりしてはいけない」「誰かに見られたり、触られたりしたら信頼できる大人に相談する」ことを保育園でもきちんと伝えています。特に水遊びがはじまると水着や着替えなどで肌がでる機会が多くなります。小さいうちから自分の体や、お友だちなど他の人の体も大切にできるようになって欲しいと願っています。



参考資料
HOME ALSOK
研究所



「だいたい だいたい どこだ?」
作：遠見才希子 出版
社：大泉書店

『ほどじゃがを作ろう!』の取り組みについて

保土ヶ谷では、江戸時代からジャガイモの栽培が始まり、明治時代には農事試験場が設置されたことで、全国に良質な種芋が広がった歴史があります。この伝統を受け継ぎ、保土ヶ谷区の保育園では平成 27 年から毎年「ほどじゃがを作ろう!」の活動を行っています。

幼児クラスの子どもたちは、春にジャガイモを植え、毎日水やりをしながら成長を見守ってきました。土の中で育つジャガイモが、どんな形になっているか、とても楽しみです。収穫したジャガイモは、子どもたちと一緒に調理し、美味しくいただく予定です。自分たちで育てた食材を味わうことで、食への関心や喜びを感じてもらえたら嬉しいです。

